

2007年(平成19年)8月2日発行



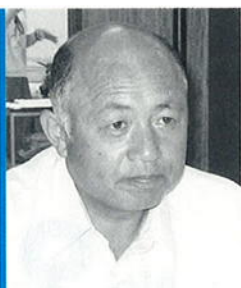
海の幸を味わうツアーが好評（御来屋漁村センター）

6
月
定
例
会

議長・町長「大山町の明日を語る」	2
委員会の動き	6
町議会ありのまま	8
あなたの声を町政に（10人が一般質問）	10
みんなのひろば 声	20

鹿島

功議長



「大山町は素晴らしい町」 誇りを持ってみんなでPRせんと

将来展望

―早速ですが、10年、20年後の大山町の夢とか展望を。

山口町長

合併してようやく3年目になりました。違った生い立ちの町の住民が、一つの町になってまちづくりに取り組んでいくには、様々な課題がたくさんあります。ただいまあ、町民の皆さんも、いろんな場面での交流も増えていますし、10年も経てば新しい大山町として、みんなが心を通うような町になっていくことを期待しています。

大山恵みの里構想ということを全面に掲げた総合計画、これを今取り組んでいるところですので、こういった計画が、少しでも前進をする中で、産業も元気になって若者の定住化も進んで、明るい町にしていきたいですね。夢なんて言っちゃいけないね(笑)。現実としてそうなるように住民の皆

さんと一緒に取り組めるように、そういった願いを持っていくところです。

―山陰道の整備も進んで、米子とも鳥取とも近くなります。大山という観光地もあり、いろいろ夢を描けるんじゃないでしょうか。

鹿島議長

そうですね。高速道路によって、大阪近辺、あるいは四国九州からどんどんと高速にのって大山に来ていただく、そして大山の恵みを受けた産品を買って帰っていただけるようにしていきたいですね。

それから、米子あるいは県外からこんなに素晴らしい自然のある町にきたい、住みたいという人がどんどんと増えてもらいたい。

ただ、高速道路も良し悪しで、ちょっと気を緩めちゃったらこの高速に乗ってどんどんと地元から出ていくという可能性もありますから、町長には危機感もしっかり持ってらって、町の舵取り

をしてもらいたいですね。10年後、大山町がどんな良くなる、そういう夢に向かって私たちも頑張っていこう、そう思っていますね。

町長

地域の活性化につながる高速道路整備も、議長が言われるようにマイナス面、流出する人もあるわけですよ。ただ、その責任というのはやっぱり地域の責任ですから、その高速道路を使ってどれだけ地域に魅力をつけるか、それがその自治体・地域の役割であり責任であると思ってるんです。

大山恵みの里作り計画も要は高速道路の開通を目指して、そこからいかに多くの人に道路を使って、移動時間をいかに短くして滞在時間を長くしてもらおうかという仕掛け作り、これが一つです。

それから無料の高速道路ができるということで、米子へも15分、20分で行けるんじゃないかと。そういう意味で、若者向けの定住というより、ワンストップでいいと思う

特別企画

「大山町の明日を語る」

財政難や少子高齢化などの厳しい町政の中で、大山町の未来や夢を山口町長と鹿島議長に語っていただきました。

行政の役割を、 住民と確認し合いながら、 行財政改革を進めます



山口 隆之町長

んですけれど、そういう住宅政策も進めていきたいと考えています。

議長

若者定住ということでは、企業誘致も大事です。今の社会情勢の中で企業がどんどん来るといいうことはないんだけれども、そこはやっぱり町長含めて、われわれの責務として何とか一つでも明るい材料を出したいという思いです。

情報基盤の整備もできて、都市との情報格差が少なくなります。あとはアピール。

この大山の下の、我々が住んでいるところは、とっても素晴らしいんだと自分で言える、みんながそういう町民になっていかなければ。謙遜で「(大山町は)いやたいしたことないですわ。水がきれい、空気がきれい、ただけですが」なんていう、そんな言い方じゃなくてね。小さい時から教育でもやっていかなければ、あるいは地域の住民として常に口に出して、

「この町は素晴らしい、ここはいいところだ」ということを言っていく。

そのことが若者の定住化や企業誘致にもつながっていくと思ってるんですけどね。

町長

自分の町に対して誇りと自信を持っていたら、地元の産業を盛り上げていこう、その産業に就こうといった若者も増えてくるんだらうと思います。

例えば、農業は大変だ大変だと、そればかり言うのじゃなくて、農業は本当に魅力ある産業だと思っておりますから、やっぱりそういったところをもっと子どもの頃から、家庭や地域で、子どもたち、若者にその良さを伝えるということが大事だらうと思うんです。

大山恵みの里 構 想

議長

大山町には特産物もたくさんありますから。そ

れらをいかに皆さんにPRして自慢して食べていただくか。

農産物も一次産業で儲けるだけでなく、加工品として売る、大山の素晴らしいロケーションを活かして、食べに来ていただく。そういう仕掛けづくりをもっとしていかなければ、それが大山恵みの里構想の原点。

自分が作って安心安全なもの、自信を持って、「どうぞ食べてください」と消費者にアピールできるくらい、生産者の顔が見える大山ブランドを作っていかなう。

みんなで知恵を出し合ったら、いくらでもアイデアは出てくる。自分らがやっていくんだという気持ちをもってやれば、それを町も手伝い、農協や漁協、民間業者の人も関わっていくことで、素晴らしいものができると思います。

町長

大山恵みの里構想って、これは新大山町の総合計画の中核的な計画なんです。恵みの里構想とい

うのはそんなに難しい話ではなくて、平たく言えばね、大山町に今ある産業・文化・歴史、こういうものにもう一度目を向けて、これにもっと磨きをかけましょうやということなんです。

長い歴史の中で、大山の恵みとして受け継いできたもの、それはみんな素晴らしいものなんです。さらに磨きあげて、大山という名前とともに、誇

りと自信をもって外にPRしていきましようや、それが、町の活性化にもつながるし、産業の活性化につながる。住民の自信と誇り、元気につながるんですよ。

住民の皆さんも、まずは町の中を見つめてほしい。で、大山町の中にあるものの価値をしっかりと知ってほしい。そんなような願いを含めた構想・計画なんです。



まちづくり

— 少子高齢化が進む中で、地域のあり方も変わってきています。これからのまちづくりや住民自治はどうあったらいいんでしょう。

町長

二、三十年前を振り返ってみると、みんな地域の中で声をかけ合い、助け合って生活しとったわけですよ。その頃は行政の役割というのは少なかったと思うんですよ。行政の役割というものをもう一度、見つめなおしてもいいじゃないかと僕は思ってるんですよ。国も地方もこれだけ財政が苦しくなってくれば、今行政の役割を小さくしていけないと運営していかないわけですよ。で、それっていうのはみんな住民の皆さんの負担で行うわけですから。行政の役割をもう一度ね、住民の皆さんと確認し合って、行政がやった方がいいのか、住民の方で

やったらいいのか、個人の役割としてやった方がいいのか、そこら辺のところをコストも含めて、考えてみなくちゃいけないんじゃないかなと思います。

そういう中で、できるだけ地域で解決できる課題はね、地域で解決できるような体制を作っていくことが大事なかなと思ってるんです。

田舎にはね、横のつながりが、まだ残っていませんからね。その良さにもう一度気づいて、それをみんなでもう一度、地域の強い絆を作っていくという仕掛けができると思うんです。

確かに高齢化が進み、人口も減ってきてますから、小さな自治会でできないことは、例えば昭和の合併前の旧町村は10ありますよね。そこら辺の範囲で、住民の皆さんが、自分たちが責任を負いながらやっていけるような仕掛けづくりをしなくちゃいけないと思ってます。

議長

近年、集落に属さない

世帯も増えて来ているが、やっぱり再点検や見直しも必要だと思えます。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かったらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとおのこね。自分一人じゃ暮らせない。

地域の皆さんと歩調を合わせないけんかったり、自分一人じゃどうしようもできないことは、自治会や行政に任せないけんこともある。集落でできることは、集落でやりましょいやと。

今町長が言われたように、集落近辺の町道だったり、「草刈りは集落でしましよや」とか、簡単な補修なら、「材料は町で出してごせ。あとは集落でやりますから」とかね。行政と住民が、互いに協力していく。地域社会にとって、そういう取り組みがこれから一番重要になってくらへんかなと思えますね。

議長

大山町も財政が厳しくて合併したというのが本

音のところなんでね。厳しい財政を、行政も住民も、もちろん議員も知恵や労力を出し合って、何とか乗り切りましょいうやということだから。

特に職員のみなさんにはね、何もせんでも、一生懸命やつても同じように給料が払われるって批判もあるわけだ。行政改革の中でスリム化や職員待遇にメスを当てないけん部分もあるし、議員にもあるかもしれん。住民が受ける補助金なども当然見直していかんけん。

そういうことを町民の皆さんにも考えてもらいながら、税金の使い途について、我々議員もしっかりと目を見張らないけん。町長はじめ執行部の方々も、今まで以上に自分の身を切るつもりで無駄を省いていく。厳しいことですけど、やっぱりその辺は誰もが目を向けて、メスを入れないけんと思えますね。

町長

豊かな町3つが一緒になつたわけではないです

し、自主財源を十分にもっている町ではないわけですからね。財政的には今の国の状況を見る限り、よくなるという見通しは難しいでしょう。

合併した大山町が、限られた財源をいかに効率的に活用していくかが課題です。

大山町の職員には、何もせずにぶらぶらしている職員はおりませんけれども、まあいずれにしても、職員体制の整備なり、改革をする中で、定数の削減も今計画的に進めているところですし、内部の事務事業とか、いろんな経費の使い方も、行政改革の中で進めています。

それから補助金なども、旧3町の違いなどを検証しながら、本当に必要なものには手厚くせないけんけれども、そうでないものについては、やはり削減していくなり整理していかないけんと思ってるんです。やろうとしているんですけども、そのことを住民の皆さんに理解をしていただいて、特に議会の方、総論はそ



西尾 寿博 広報委員長

うけど、各論になるといけんっていう話にならんように(笑)、住民の皆さんもそうですけれどね。ただ一生懸命、産業の活性化とか、いろんなことをしながら、少しでも町が潤うような取り組みをしていかないけんと思ってます。

議長

合併して、大山恵みの里構想や、教育改革など、限られた予算で様々な改革をしていかなければならないわけで、町長も住民に良い顔ばかりしているわけにもいかんし、苦労も多いと思えます。我々議会も、開かれた議会を目指しながら、大山町の発展に共に取り組んでいきたいと思えます。

中山小大規模改修・ 大山中技術棟改築

6月定例議会

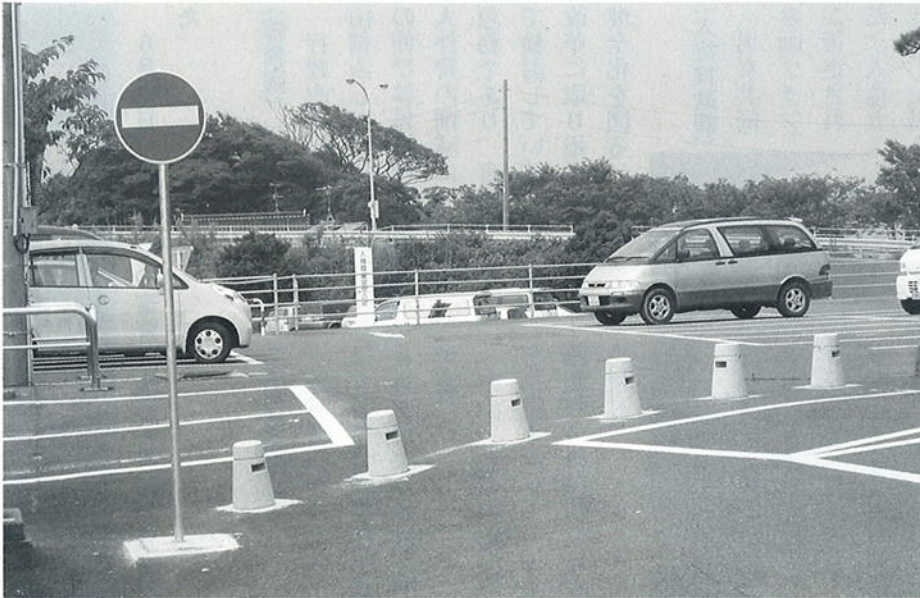
契約を承認、着工へ

6月定例議会は、6月11日に開会し、20日に閉会しました。

平成19年度一般会計補正予算、中山小学校大規模改修工事の請負契約(契約額 2億5千万円)、大山中学校技術棟改築工事の請負契約(契約額 1億3千9百万円)等、9議案を審議し、全て原

案どおり可決しました。また、本庁舎駐車場改修工事他5億8千万円の18年度予算の繰越が報告されました。

一般質問では10人の議員が、大山恵みの里構想や農業施策など、20項目にわたり町当局の考えをたずねました。



役場駐車場内が通行規制になりました

議案質疑

一般会計補正予算

問 (西山議員)

小学校費に英語活動等国際理解推進事業の予算が計上されたが、その内容と重要性は。

答 (狩野学校教育課長)

現在小学校では、総合的な学習の時間に、担任を中心に外国語指導助手を活用し、英語活動を推進している。国際理解教育ということもあるが、コミュニケーション能力の育成も狙いとしている。小学校での英語の教科化ということも議論されているが、現在のところ英語教育ということではなく、国際化の中で、子ども達の表現力育成や国際理解教育を目指す英語活動として行なっている。

工事請負契約

(中山小学校校舎大規模改修工事)

問 (川島議員)

工期中の児童の安全はどのように図るか。

答 (狩野学校教育課長)

校舎内、児童の授業等に関わる部分については、夏休みに重点的に行い、夏休みの前後は授業に支障ない範囲の工事を行なうことで確認している。

人権擁護委員に同意

任期満了になる人権擁護委員に、新たに大塚典子氏(神原)を推薦したいという町長からの提案に対し、適任であるとして全会一致で同意しました。



大塚典子氏



着工された中山小学校大規模改修工事

委員会の質疑

総務常任委員会

6月13日、陳情1件の審査、所管の事務調査を行った。

(総務課)

行政改革の行政課題は山積みしている。交付税の伸びは見込めないので、人件費の削減についても急務であり、事務レベルで検討している。行財政改革に取り組み、財政の健全化を図る。

(企画情報課)

地域情報化の宅内工事は6月11日現在70%超。8月1日より本放送開始予定。

中山・名和の巡回バスと福祉タクシー、大山の路線バスの現状と見直しを検討。

(人権推進課)

男女共同

参画プラン

が策定され

た。人権セ

ミナーに「男

女共同参画

についての

講座も設け、

広く人権啓

発活動に努

めたい。

滞納問題

の整理、悪

質な滞納者

には法的措

置も検討。



巡回バス

教育民生常任委員会

6月15日、陳情1件の審査、所管の事務調査を行った。

(福祉保健課)

問 診療所の事務、窓口の雇用は。

答 大山診療所では、日常業務の流れから、業務委託している。大山口診療所については、開業時から2名の嘱託職員が行っている。このやり方で続けていきたい。

問 地域包括支援センターに各支所から職員を集めた弊害はないのか。

答 上手く連携が取れるようにしている。全ての保健師がセンター以外の仕事もしている。

問 介護保険料の見直しは。が来年にあるが、見直し

答 全般に介護サービス

が増えており、下がらない。

(教育委員会)

問 保育所費に6億かけているが、職員の過不足はないか。

答 人件費が5億かかっている。子どもの数に合った職員数である。

問 名和小学校の新築校舎のアレルギー問題は。

答 ホルムアルデヒドが出るのが問題であり、1年間は保証期間。納入業者、設計業者に

対応させる。

問 犬の登録は本人の申請だけなのか。もれは心配ないか。

答 台帳の整理をし、登録もれの啓発を行っている。

問 合併後の本庁、支所間の事務処理でばらつきが感じられる。

答 事務処理は同じであるが、見る手引き書のようなものによって、統一する予定である。

地域包括支援センター



地域包括支援センターの光景

経済建設常任委員会

6月11日と13日の2日間、陳情1件の審査と所管の事務調査を行った。

(観光商工課)

問 機構改革により企業誘致、雇用促進の事務を観光商工課が担当することになった。今年度の取り組みは。

答 企業誘致については、副町長をチーフに県との連携を密にしながら、誘致に向け取り組んで行く。雇用促進については、町内での移動ハローワーク(ニートと呼ばれる方たちを対象とした相談会)を予定している。

問 建設業の業種転換の取り組みは。

答 これまででは町としてはあまり関与していなかったが、大山町内の業者に合った形での取り組みを行うため、現在、業種転換を支援する国の外郭

団体と連絡を取り合っている。

(大山振興課)

問 大山恵みの里構想を活かす販売拠点の整備は。

答 大型の施設を一つ整備するのではなく、町内の観光スポットや幹線道路沿い等に小規模な施設

を複数整備し、観光客の周遊性向上を図っていきたいと考えている。

(水道課)

問 水道・下水道の料金体系が旧3町でバラバラのままになっている。将来的に統一していくめどは。

答 特別会計が赤字で、将来的には値上げせざるを得ない状況。ある程度料金を統一する方向を示しながら住民の理解を得たい。



夏山開き祭でにぎわう大山カラス天狗市

水道料金

～ 旧町ごとで大きく異なる料金体系 ～

● 旧中山町区域 (開拓専用水道を除く)

区分(口径)	13ミリ	20ミリ	25ミリ	30ミリ	40ミリ	50ミリ	75ミリ
基本料金(1か月) ※8㎡まで	672円	777円	882円	1,228.5円	1,354.5円	1,890円	2,037円
超過料金	126円/㎡						

● 旧名和町区域 (開拓専用水道を除く)

区分(地区)	押平地区	その他の地区
基本料金(1か月) ※8㎡まで	836.85円	897.75円
超過料金	50㎡まで	118.65円/㎡
	50㎡超	142.80円/㎡

● 旧大山町区域

上水道 (坊領地区・13ミリ)

基本料金(1か月) ※12㎡まで	0円		
従量料金	(12㎡超42㎡まで) 147円/㎡	(42㎡超72㎡まで) 157.5円/㎡	(72㎡超) 210円/㎡

上水道 (大山寺地区・13ミリ)

基本料金(1か月) ※8㎡まで	819円		
従量料金	(8㎡超38㎡まで) 147円/㎡	(38㎡超68㎡まで) 157.5円/㎡	(68㎡超) 210円/㎡

上水道 (大山寺地区・坊領地区を除く・13ミリ)

基本料金(1か月) ※8㎡まで	819円		
従量料金	(8㎡超38㎡まで) 147円/㎡	(38㎡超68㎡まで) 157.5円/㎡	(68㎡超) 210円/㎡

大山町議会ありのまま

定数・報酬は多い？ 少ない？

議会の使命とは、地方公共団体の具体的政策を最終的に決定することであり、行財政の運営や事務処理が適法・適正に、しかも公平・効率的に行われているかを審議し、監視することです。

議員は住民の代表です。議員の一言一句は、住民の声であり、議員が行う質問や質疑・討論は、同時に住民の意見であり疑問でなければなりません。

地方分権が進み、地方のことは地方で考え、実行する時代となりました。激動する経済社会の中で、今日の地域社会も、日々変化していますから、行政府も議会もこれに的確に対処していかなければなりません。

そのためには、常に住民の悩みや意見を汲み取り対話を重ね、議論を重ねていかなければなりません。また、ただ単に、住民の声を代弁するだけでなく、調査研究を進め、

住民全体の福祉向上と地域社会の発展を目指して、時には住民に訴え、時には住民を指導して、その実現に努力しなければなりません。

住民が行政に、また議会に何を望んでいるのか。時代の流れにあった行政施策がなされているか。

私達大山町議員は、そのことを常に肌で感じ、住民要望の実現に努力を惜しむものではありません。大山町議会の実態、あなたはどのように判断されますか。

(参考文献「議員必携」)



県西部の市町村議会議員の報酬・定数

市町村名	議員報酬 (月額/円)	政務調査費 (年額/円)	議員定数	人口 (H17国勢調査)	面積 km ²
米子市	440,000	450,000	30	149,584	132.21
境港市	385,200	156,000	16	36,459	28.79
日吉津村	198,000	0	10	3,073	4.16
大山町	215,000	0	21	18,897	189.80
南部町	212,000	0	16	12,070	114.03
伯耆町	215,000	0	16	12,343	139.45
日南町	212,000	0	12	6,112	340.87
日野町	200,000	0	10	4,185	134.02
江府町	193,500	0	10	3,643	124.66

陳情の審査結果

6月定例議会で常任委員会に付託した陳情は、
審査の結果、次のとおり決定しました。

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
最低賃金の大幅引き上げと均等待遇の実現を求める陳情	鳥取県労働組合 総連合議長 田中 暁	全国一律に最低賃金を1,000円に改訂する陳情は、鳥取県の実状にそぐわない面があり、願意は分かるが趣旨採択とした。	総務常任委員会	趣旨採択
森林の整備、林業、林産業の振興に関する意見書(案)採択の要請	森林労連 全国林野関連労働組合 鳥取森林管理署分会 執行委員長 酒本 滋行	陳情書のとおり、森林の維持は国家・国民として重要課題であり採択とした。	経済建設常任委員会	採 択 意見書提出
2008年度国家予算編成において教育予算拡充を求める陳情	鳥取県教職員組合 西部支部支部長 金本 仁	教育予算の拡充を求める陳情は、社会の基盤づくりにとって重要課題であり、採択とした。	教育民生常任委員会	採 択 意見書提出

議会構成が新しくなりました

■大山町議会構成

平成19年5月28日現在 (◎委員長・○副委員長)

議 長 (H17.5.10~)	鹿島 功							
副議長 (H17.5.10~)	森田 増範							
議 会 運 営 委 員 会	◎荒松 廣志	○岩井美保子	椎木 学	秋田美喜雄	足立 敏雄	敦賀 亀義		
常任委員会 (H19.5.10~)	総 務	◎椎木 学	○西尾 寿博	西山富三郎	荒松 廣志	二宮 淳一	遠藤 幸子	鹿島 功
	教育民生	◎秋田美喜雄	○吉原美智恵	野口 俊明	岡田 聰	小原 力三	岩井美保子	川島 正壽
	経済建設	◎足立 敏雄	○諸遊 壊司	澤田 正己	尾古 博文	敦賀 亀義	近藤 大介	森田 増範
特別委員会	議会広報調査 (H19.5.28~)	◎西尾 寿博	○遠藤 幸子	岡田 聰	諸遊 壊司	吉原美智恵	近藤 大介	

あなたの声を町政に

一般質問は、10人の議員が20項目にわたり諸問題を質しました。



澤田正己議員

「大山の水」の活用を

特産品の付加価値に

問 大山町の自主財源は、19年度一般会計予算97億1千万円のうち26・8%

である。10年後を考えると、高齢化が進み若者が少なくなり、自主財源の減少や交付税の減少が憂慮される。

梨園に引いてある開拓水道は、見学者にうまい水と好評である。それも

そのはず、甲川の上流大山の麓が水源だからである。

自主財源確保のために、このうまい大山の水を商品化し「大山恵みの水」として売り出す考えはないか。

答 (山口町長)

自主財源の確保は大変

でこの自治体でも重要な課題である。

開拓水道は大山山系を水源としており、うまい水であることは間違いなし。

しかし、この水道は315カ所の受益があり、生活用水や家畜の飲用水などに利用されているが、水源が自然湧水のため水

量に不確定要素があり、商品化し「大山恵みの水」として販売することは困難である。

全国的に高品質な水の需要が高まる中、大山山系の水も、江府町の第3セクターがすでに商品化している。さらに、伯耆町に大手飲料メーカーが進出したことから「大山の水」もブランドとして確立しつつあると考ええる。これら近隣の水ビジネスを追い風にしながら、町内の水資源を商品化できないか、また、様々な特産品の付加価値的要素として活用販売できないか検討したい。



需要高まる天然水



岡田 聡議員

医療事務の外部委託は必要か

事務処理が円滑になった

問 町営診療所何力所かの医療事務を外部委託しているようであるが、本来、さほど高度な専門知識まで必要としない事務

だと考える。地域の雇用を確保するためにも、町内あるいは近隣町村の人材を採用し事務処理に充てるべきである。必ずしも、正職員でなくてもいい。

地域のためにも、その方がメリットがあると考えるがどうか。

答 (山口町長)

現在本町で運営している4診療所のうち、名和診療所・大山診療所・大山口リハビリセンターで医療事務の外部委託を行っている。

内容は、日常業務では、患者さんの受付、診療費の計算、領収書の発行等。1月単位では、診療報酬明細書の発行と点検が主である。

委託により、診療報酬の請求ミスが減少し、診療報酬の改正にも的確に対応でき、看護師の時間外勤務が減少した。

これまでレセプトの発行と点検に医師と看護師を総動員し

医療事務の執務風景



ていたことや、事務職員の休暇や異動、退職等で支障を来していたこと等、解消され円滑に行っている。

ごみ袋有料化後は

さらなる減量や分別の徹底を

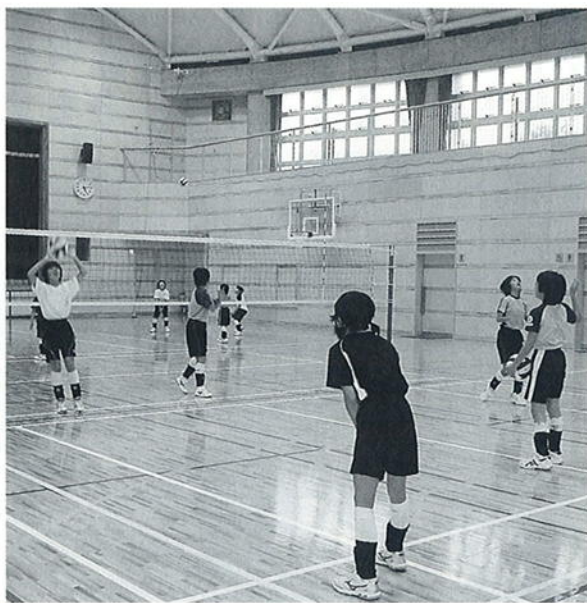
うか、また、不法投棄が増えてはいないか。さらなる減量を図るためには、分別の徹底が必要だが、自治会などの協力体制は万全か。

答 (山口町長)

ごみの排出抑制に取り組む契機ととらえて協力をお願いしているが、1〜5月までの5カ月間で、可燃ごみ4トン増、不燃ゴミは8・4トン増となった。

可燃ごみは、月当たり約2トン、1家庭で350グラムを減量していた。だと町内の焼却施設の処理能力に収まる。引き続き減量化の取り組みと分別の徹底を呼びかけて行きたい。

県西部広域可燃ごみ処理は施設新設計画を凍結し平成22年までに新たな対応方針を決定することになった。米子市の協議を見守っているとところである。



練習にはげむスポーツ少年団

小学生のスポーツ育成は

問 子どもたちのスポーツ活動は、スポーツ少年団として組織され、指導者の下活動している。体力や精神力の向上に大変有効である。

教師の関わりによる質の向上を図れないか。

また、日頃スポーツに関わりの少ない子どもたちが、健康のために何らかの運動に親しめる仕組みづくりが必要と考えるがどうか。

答 (山田教育長)

町内では、9種目、19団体が活動している。学校社会をはなれて地域社会の中で、心や体を育てていこうというものである。有志の指導者を核に、家族や先生の支援や連携のあり方に配慮し、スポーツ活動の活発化に努めている。

学校の体育授業は平均週1・5時間と少ない。家庭の中で健康・体力づくりを生かせるような情報を提供したり、先生方の体力づくりのノウハウを社会教育や地域活動に生かしていきたい。



吉原美智恵議員

町民と対話や交流の場を

出前座談会の周知を図る

問 新大山町としての山口町政も3年目となった。

「町民が主役のまちづくり」を目指し、「町長への手紙」、「意見箱」等は周知のとおりである。しかし、より一層の推進を図るためには、町長自らが、町民等のグループや、



出前講座

名和の町長
平成11年、

答

(山口町長)
平成11年、

団体の活動現場へ出向き、直接まちづくりについての意見を聞いたり、タウンミーティングのようなものを開き、町政への参画意識を高めることも必要ではないか。また、町財政も厳しくなり、補助金削減等、町民の理解と

信頼を得ることがより求められる。協働のまちづくりのうえでも、いろいろな人の智恵を借りて行政に生かす対話の場を増やしてはどうか。

問 昨今の厳しい財政状況を踏まえ、これまで以上に町の各種事業についてその必要性や、効率性、成果等の検証が重要になって来ている。内部の検証もさることながら、その情報を町民にも公開し、

答 (山口町長)

昨年3月に12名の有識者を行政改革審議会委員に委嘱し、集中改革プランの策定にかかる諮問を行った。本年5月には、全職員を対象に、各課の現状、課題、目標等提出させ、幹部との意見交換を

外部評価制度の導入を

まず内部での再検討

町民の生の声を聞いたり、その意見をまちづくりに直接活かしていくことは、大変重要であると思っている。町の総合計画、大山恵みの里づくり計画等、多くの皆さんに関わっていただいた。全国和牛能力共進会についても、多くの方々の意見を聞きながら、いろいろな町づくりの計画等立ててきている。また、広報だいせん7月号や、町のホームページを利用し、「町長の出前座談会」を広く町民に周知していく。

られ、大山町の知名度をあげている、大変有意義な大会である。しかし、宿泊や、食事は大山町内ですべて頂いたのだろうか。大会の形式や中味に工夫が見られただろうか。その取り組みに対して、民間の経営感覚を取り入れるということが、外部評価制度につながるのではないか。

実施した。確かに、具体的な事業の取り組みの中で、効果はどのくらいあるのか検証しながら取り組むべきだろうと思っている。外部評価の必要性は十分に認識しているが、まず内部でのプランの再検討を具体化させて行きたい。今後の大きな課題として、内部評価と同時に、外部評価もできるような体制を作って行きたいと考えている。

例えば、今年も「さくらマラソンフェスタ」が全国から、1000人以上の参加者を集め、たくさんの方々のボランティアの協力で大盛況に行われた。大会自体は、県外の皆さんも毎年楽しみにしてお

昨年3月に12名の有識者を行政改革審議会委員に委嘱し、集中改革プランの策定にかかる諮問を行った。本年5月には、全職員を対象に、各課の現状、課題、目標等提出させ、幹部との意見交換を



マラソンフェスタ



岩井美保子議員

イベント集中に苦言

連携を十分にとる

問 5月の日曜日は、イベントの連続で、特に27日には集中した。1年間のイベントを提示され、参加、出店希望などの取りまとめ等しいと落ちがあったりして、まずいところがあった。町の施設を使用する事に関して、使用料の減免措置は見直しが必要ではないか。外部の施設な

ど使用することも考えられる。公平にすべきである。

答 (山口町長)

現在、大きなイベントを行う場合には、事前にある程度調整は行っている。観光施設等の利用についても、できるだけの調整をしながら取り組んできている。使用料については、販売収益が個人や法人等の

利益となる場合を除き、団体育成など公益性がある場合には、減免措置をしている。

イベントは多くの町民や団体の方々が、町内のいろいろな施設を利用して活動をPRし、仲間の輪を広げて頂く絶好の機会と考えている。質問の意見も参考にしながら、団体の皆さんとも協議をしながら、検討していく。



大山御幸行幸

PR不足の和牛博覧会

準備を進めている

問 和牛博覧会(全国和牛能力共進会)の取り組みの内容が決まってきたのではないかと。

町民に知らせて、協力体制を整えるべきと思う。特におもてなしの件についてどのように考えるか。

答 (山口町長)
10月11日から4日間、開催。食肉センターが肉牛の審査会場。名和トレーニングセンターが肉牛のセリ市場。大山寺では「畜魂祭」が開催される。「大山町実施本部」を設立し、「観光・おもてなし部門」・「会場運営部

門」を設置し、準備を進めている。

①名和会場において、セリ開催日に、地元の団体などによる歓迎アトラクションとふるまい汁、お茶でのおもてなし。

大山寺では、期間中、ポランテアガイドによる阿弥陀堂などへの案内、見学などできるよう計画

している。

会場を装飾する花プランターの栽培を町内小学校・住民団体へ依頼したり、会場美化等を行うボランティア参加者を募集している。

②名和会場や大山博覧座でも、鳥取和牛の串焼きの販売について、実施を予定している。

米子会場では、鳥取和牛のコーナーが設けられ、和牛肉や焼肉が販売される。多くの町民の皆さんがご賞味頂ければ、と考えている。



マスコット「とりモー」くんPR



諸遊壊司議員

公民館使用料を無料化へ

使用料は必要

問 公民館の目的は国の「社会教育法」の第20条に公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、

実際に生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化

を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とすると載っている。

しかし、使用が有料化されたため、利用者は合併前つまり無料化の時と比べ、64%〜92%まで利用率が低下している。

しかも使用料は、例えば大山公民館では年間約1万8千円。たった年間これだけの使用料を取るために利用率がこのようなに低くなるのであれば、再度無料化にし、もっと多くの住民に利用してもらう方が、公民館の設立の目的からしても正しいと思う。

答 (山口町長)

社会教育施設である公民館の利用はもともと使用料が必要であり、社会教育の目的に関する学習や集会、あるいは公用や公益事業のために利用される場合には使用料の減額や免除ができるようになってきている。高齢者の学習や自治会活動が有料になったために利用が低下したという認識はない。

人口減ストップの施策

現制度の改正の検討

問

町長の施政方針によると住宅政策では「空き家、空き地バンク制度」「移住支援制度」を創設し、定住化による人口増加をめざすとある。また

大山町総合計画にも、10年後(2015年)は1,700人減少が想定されるが、定住政策を実施し、1万9,000人をめざすとある。

そこで3点質問する。

- (1) 空き家・空き地バンク制度、移住支援制度の現在の状況。
- (2) 遊休町有地の活用方法(議会では提示済み)また売却の場合の価格。

(3) 遊休町有地・私有地にしても民間で宅地開発の場合、上下水道の公的負担の割合(他の町村では、上下水道工事費は行政で負担しているところあり)

答 (山口町長)

(1) 6月10日現在で、貸したい売りたいと希望される人が5件。定住希望を登録された方が10人。

空き家・空き地情報が少なく、物件の掘り起こしに力を注ぐ必要がある。

移住支援制度は、町内に定住が決まった人に定住アドバイザーをする人で、12人分の予算を計上している。

(2) 売却の場合の価格は、基本的に近隣の売買実例を参考としながら設定したい。

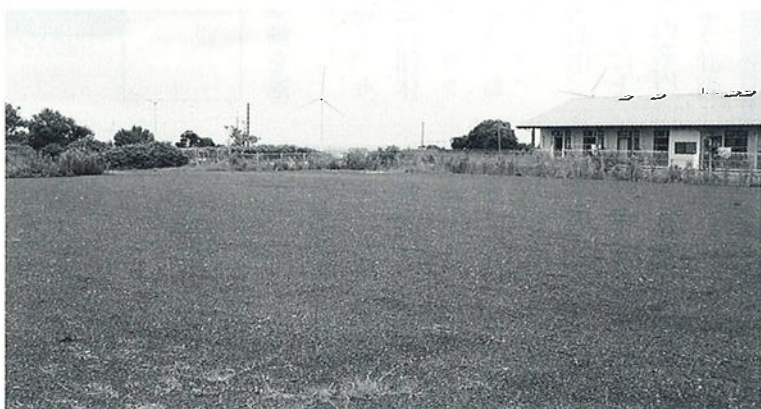
(3) 現在上下水道及び下水道の新規接続には、工事費全額の自己負担をお願いしている。

しかし大規模な宅地開発になると、上下水道だけでなく、道路・消火栓・ゴミ収集場所・集会施設など開発計画段階で行政と様々な調整が必要となり、宅地開発される業者と行政で役割分担を決めて事業に取り組むことになる。

今後、現制度の改正が定住化に効果が見込めるなら、いろいろな課題を整理し検討をしてみる価値がある。



利用をまっています。公民館！



活用が検討されている遊休地 (旧中山中学校)



西山富三郎議員

ふるさとを胸はって 名乗らせたい

教育、啓発が大切

問 ふるさととは人々のよすがである。

誇らしいふるさとに私たちは生きています。しかし今なおふるさとを名乗ることにより市民の権利が阻害される現実がある。

同和問題である。その解決のため隣保館は大きな使命をもつ。

- (1) 実態調査による格差は。
- (2) 地域交流事業の現状。
- (3) 水平社宣言の認識。
- (4) 解放運動の目的は。

答 (山口町長)

住環境整備は一定の成果をみた。しかし差別、偏見による事件、事象が発生している。教育・啓発・交流に課題がある。一層隣保館活動の充実に努めたい。

(1) 17年度・県調査によれば就労、福祉、教育などに格差がみられる。日雇い臨時雇いが多く生活を不安定にしている。生活向上のために各種相談事業に取り組んでいる。

(2) 周辺地域との交流により相互理解を図り、人権・同和問題の速やかな解決を目指している。

- 人権交流センター
 - 中山ふれあいセンター
 - 中高ふれあい文化センター
- ターでは、茶道教室・銭太鼓教室・生け花教室・英会話教室・健康体操教室・ちぎり絵教室・識字

学級など教養文化活動を通して交流を深めている。
(3) 大正11年3月3日、京都岡崎公会堂での全国水平社創立大会で採択された日本で最初の人権宣言と理解している。
(4) 部落差別による基本的人権の侵害をなくし人権確立を実施すること。さらにすべての人々の平等を願うものと認識している。

スポーツ憲章の制定

合意実態を踏まえて

問

町内にはスポーツを生活の一部として、自主的に主体性を持って活動しているクラブが多くある。

- (1) スポーツの定義は。
- (2) スポーツ憲章の制定を図りたい。

答

(山田教育長)

(1) 一般的には体力づくりや競技のために行う身体活動といわれているが、

広い意味でスポーツに親しむことにより高齢者の生きがい、青少年の育成、世代間交流など地域コミュニティの形成にもつながる活動とされている。

(2) 旧3町の社会体育推進組織を新しく大山町体育協会として設立した。

各種スポーツ大会をはじめ町民に幅広くスポーツに親しんでもらい、生涯スポーツとしての推進

を図っている。

高齢者、スポ少など地域密着型のスポーツが進んでいる。

憲章は教育委員会が、かくあるべしという提示の方法でなく、町民の合意や実態を踏まえて策定することが大事であると認識している。

今、町内のスポーツの実態を十分統括していない。部内で統括する総合型スポーツのあり方を検討したい。
方向としては同じだと思ふ。



人権交流センターでの農業体験学習 (米づくり)



普及が進む軽スポーツ (ペタンク)



川島正寿議員

急げ財政マニフェスト

改革案8月以降

問 本町は、一段と少子高齢化となり、人口減少が予測される。全国的には景気回復基調にあるとはいえ、800兆円を超える国の借金のありで地方財政は好転どころか増々困窮の度を深めている。

地方交付税の大幅削減で財政力の弱い市町村で

は、第2の夕張を恐れる。我町も3年後には基金も底をつく。健全財政へ向け、中期の財政マニフェストを早期に作成し、町民に示されたい。

答 (山口町長)

行財政改革大綱や集中プランを作成したところ

である。具体的な数値目標が、あまり示されていないと、議員・町民のみならず、さんより指摘を受けているが、改革プランの柱である住民との協働・連携、住民のニーズにあつた効果的対応、健全な財政運営の確保など全般にわたつて具体的な作業をしている。皆さんに示せるのは、本年8月以降になる。

問 名和小学校が統合されて2カ月が過ぎた。新しい環境での学校生活について4点問う。

(1) 先生・生徒・保護者相互の信頼関係は保たれているか。

(2) イジメは発生していないか。

(3) 新校舎で頭痛などがある。健康管理は十分か。

(4) 第2次教育改革との関連は。

答 (山田教育長)

(1) 昨年東西に分かれて名目統合、本年四月に実質統合となった。

その間教職員と保護者が、体制づくりに取り組み、順調にスタートできた。学級活動や通学方法など変更になったが、良好な関係を土台に、信頼関係が深まるものと期待している。

(2) 交友関係で様々なレベルの摩擦やトラブルは起きているが、保護者と連携して、早期に対応する。

(3) 新校舎で頭痛・手の荒れがあるのは、化学物質のせいではと、学校薬剤

師と対応にあつた。また、町内各小学校で、毎朝、児童の健康状況をチェック、把握し、安心、安全な学校運営に努力している。



鳥取県産米

問 生ゴミのリサイクル(堆肥化)を大山ブランドの農作物へ利用し、観光大山のイメージアップにつなげては。

答 (山口町長)

これから「大山恵みの里」づくり計画や、総合計画、新エネルギービジョン等で、循環型社会への対応を促進する。

問 阿弥陀川水系の米は新潟産米と同等に美味しいとの声がある。ブランド米としての取り組みは。

答 (山口町長)

生産者、関係機関との連携、新設した「恵みの里公社」に認証機能を持たせるなど、取り組みを通してブランド化を検討する。

新校舎になって

安心、安全な学校運営



地方分権改革推進法抜粋

平成18年12月15日公布

(地方分権改革の推進に関する基本理念)

第二条 地方分権改革の推進は、国及び地方公共団体が共通の目的である国民福祉の増進に向かって相互に協力する関係にあることを踏まえ、それぞれが分担すべき役割を明確にし、地方公共団体の自主性及び自立性を高めることによって、地方公共団体が自らの判断と責任において行政を運営することを促進し、もって個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることを基本として行われるものとする。

地方分権改革推進法の概要

権限委譲が進まないのは

財源が付いてこない



西尾寿博議員

問

平成16年度から18年度の3年間、補助金の削減と地方交付税の見直しは進んだが税源移譲は、ほとんど進んでいない。その中で格差が生まれたのではないかと問われている。

それを是正するという方向の分権改革が18年12月に成立した地方分権改革推進法である。

県も移譲できるものは、できるだけ移譲する方向で、人材も含め、移譲項目の6千から7千項目にわたって、ヒヤリングを行っている。

権限委譲が進まない要因は何なのか。

現在、受入準備をしている権限はあるのか。それに伴う税財源の移譲はどうなのか。

受けざるを得ないという状況になった場合、県も、いいものは渡さないが、どのようなものがあるか調べる必要があるのでは。

答

(山口町長)

県からの権限委譲の状況は、移譲項目件数が71件あり、そのうち38件移譲を受けている。

(1) 県が示したもので、住民にメリットのある移譲は、ほとんど受けた。また移譲後に取り扱い単価を一方的に下げることがある。

(2) 受け入れ準備、計画は、現在のところない。

(3) 県からの移譲事務が増えたからといって、本町の税財源が増えることはない。県職員を町費での受け入れは難しいが、県負担での派遣であれば受け入れていきたい。

環境汚染の軽減と健康に

自転車の利用

一石三鳥になる

問

大山町は、環境マネジメント規格ISO14001を取得しているが、町民に浸透しているか。

県は第1・3水曜日をノーマイカーデーと定めて地球環境汚染の軽減等、啓蒙を図っているが、町でも排ガスなどの環境汚染等の防止と、健康のために職員に自転車通勤を勧めてはどうか。

運動不足の解消と、ガソリン代の節約、排ガスの減少につながり、また肥満が引き起こすメタボリックシンドロームの不安も解消し、ひいては医療費の軽減に寄与することになる。

町長の考えを聞きたい。

答

(山口町長)

広報などで定期的に取り組みを掲載し、啓発をしている。

ごみの減少、そして資源ごみの増加という傾向が顕著に現れている。具体的な取り組みについては、広報「だいせん」にも掲載しているように、

省エネルギー対策の部分と廃棄物の排出削減が主で、行政の機関が意識をもって取り組んでいる。自転車通勤については地球温暖化防止、健康維持、値上がりが続くガソリン代のことを考えると一石三鳥ではないかと思っているのではないかと



みんなで健康、自転車でゴー！



遠藤幸子議員

高齢者の食は大丈夫か

情報の発信が必要

問 高齢化が進み、医療費が増加傾向にある今日、

予防の大切さが言われている。検診、介護予防教室などの取り組みがなされているが、食に関してはどうか。現在高齢者の栄養失調が増えていると聞くが、調査をしたことがあるか、簡単な料理講習はできないか。

答 (山口町長)

食に関する調査は特に行ってないが、基本健診の食の設問時に問題があれば、医師・保健師・栄養士がアドバイスをしている。

料理講習は「日常生活関連動作訓練事業」として、調理実習、栄養改善の指導をしている。昨年

は22回開催し、250名の参加があった。

また、食生活改善推進委員さんが、各部落で町の委託事業として、料理教室を実施している。

自分では十分な料理が

できない高齢者に対しては、バランスのとれた配食サービスを利用してもらっている。高齢者の皆さんには、色々な事業や、機会を積極的に利用しながら自らの健康づくりのために、食生活改善を心がけていただきたい。

本当に意識を持って聞いてほしい、来て欲しい人はなかなか来られないのが現状である。いろんな場面を通して、食の大切さ、高齢者にとっても食事は大事であることを理解してもらえよう。情報発信が必要と考えている。

高齢者の料理教室



集落営農の支援は

今後の支援はする



秋田美喜雄議員

問

農業政策が大きく変わり、担い手と集落営農に集約されつつある今日、農家にもとまどいが見受けられる。集落によって、集落営農に向けての話し合いがなされているようであるが、行政としてはどのような対応をしているか。また、農業委員会の役割も非常に重要と思うが、今後の対応や考えは。

答 (山口町長)

今回の農政の改革により集落営農に関心を寄せる集落もある。個別に説明を要請される意欲的な集落については、「大山町地域担い手育成総合支援協議会」の構成員である町、農協、普及所等が集落へ出向いて説明を行っている。今後、高齢化等による農地の出し手の増加が予想され、受け手のない農地の遊休化が懸念される。地域の農業は地域の農業者で守っていくことができるように、

話し合いの場が必要と考えている。町内の各集落において、集落営農組織を含めた担い手の育成や確保が必要であり、各種事業及び制度と併せて、推進と支援に町としても取り組んでいく。

農家が農地を守り、農地を活用していく。そういう農家政策の根幹にある部分に関しては、農業委員会ですっきりと議論をし、農業委員が中心となっていくことが農業委員会の役割であると思っている。



集落営農で農地を守る

第4・5回 臨時議会

5月10日・5月28日に臨時議会が開かれました。

課税限度額の引き上げ

地方税法施行令の一部を改正する政令等が、平成19年4月1日から施行されたことに伴い、基礎課税額に係る課税限度額を53万から56万円に引き

上げるもの。

この条例改正の専決処分を承認し、可決した。

情報通信事業工事の遅れ

情報通信基盤整備事業建設工事の工期変更（工



情報通信基盤整備工事の様子

期の終期を3月26日から7月31日に変更）についての専決処分を承認し、可決した。

問（秋田議員）

工期遅れの説明は住民になされたか。

また、契約した全家庭で大山チャンネルがいつ確実に見られるか。

答（小谷企画情報課長）

防災無線で工事の遅れを知らせた。

連絡が取れないお宅は、個人宛に意志確認の通知を出した。

答（山口町長）

宅内工事の完了が見込めた時点で、いつから始めるか検討する必要がある。

保険税税率、税額を改正

国民健康保険税条例の一部を改正することを可決した。

毎年5月に行われるこの改正は、医療費の増加が見込まれ、被保険者の

所得額及び固定資産税の確定に伴い保険税の税率、税額を改正するもの。

この条例は4月1日から適用する。（資料添付）

問（近藤議員）

徴収対策室も設けて収納に努力をしていると思うが、昨年と比べ、国保税の徴収率96%が、今回、94%と2%低く算定してあるが。

答（野間税務課長）

18年度実績は、94%を切るような徴収率でしたので、実態に合わせた。

町有財産の取得

財団法人林野弘済会が事業をしていた大山眺海荘及び大山グリーンロッジの両施設を町有財産として取得するもの。

金額は税込み4、200万円。

今後、大山地域の活性化がいつそう期待される。

国民健康保険税の税率・税額および加入者一人当たりの負担額

医療分	平成18年度		平成19年度		比較
	税率	税額	税率	税額	
所得割	9.41%		8.89%		△0.52%
資産割	41.81%		38.01%		△3.80%
均等割（一人あたり）		28,900円		28,300円	△600円
平等割（一人あたり）		26,500円		25,030円	△1,470円
一人あたり負担額		65,980円		63,863円	△2,117円

介護分	平成18年度		平成19年度		比較
	税率	税額	税率	税額	
所得割	1.88%		2.16%		0.28%
資産割	12.38%		13.49%		1.11%
均等割（一人あたり）		10,290円		11,750円	1,460円
平等割（一人あたり）		6,200円		6,960円	760円
一人あたり負担額		23,354円		25,938円	2,584円

国民健康保険税は、上の4つの算定によって出た額を合計したものです。

- ・所得割：前年の所得に対するの税率
- ・資産割：固定資産税額に対するの税率
- ・均等割：被保険者1人あたりの税額
- ・平等割：加入世帯1世帯あたりの税額

みんなの 声 ひろば

大山町に

嫁いで

下嶋 由佳



(文珠領)

大山町に嫁いで一年が過ぎました。まず感動したことは、星空がとてもきれいだという事です。私は米子に勤めているのですが、一日の仕事が終わり疲れて帰ったときに、この星空を見上げると心が癒され、ほっとした気が

持ちになれます。他にも通勤などで利用している農道からの風景にも癒されます。両脇にある田んぼは、秋になると黄金の穂が豊かに実り、見わたす限りそれが続きます。私の好きな風景の一つです。そして何よりも町の

人たちが、あたたかくやさしいことに感動しました。出会うと必ず声をかけ話しかけてくださったり、近所からは旬の野菜が届いたりします。私はこの町に嫁いできて本当に良かったと思っています。これからも自然や人

とのつながりを大切にしたいと思っています。

イベントへの

おもい

岩本 正人



(植松)

合併をして三年経過しました。最近になって交流も進み旧三町合同での取り組みがなされています。私も長い間中山地区で、イベント関係に携っています。以前、県内では初めての試みだと思っています

が、地域に先駆け海に関するイベントとして「ふるさと海のまつり」を開催したこともありました。しかし、「海の日」の制定を機に各所で似たような行事が始まり、取りやめた経緯があります。今、大山からす天狗市・

御来屋サザエ祭り・はまなすサイクリング等それぞれの地域の特性を生かしたすばらしい行事が開催されています。今後は、増々の交流の場を広げ、町民一体となったイベントを計画したいものと思うこの頃です。

届いた 住民の願い

椎木 令子



(種原)

この四月からスクールバスの運行を実施して頂き、本当にありがとうございます。例えば一年生になった孫娘が、朝六時半には家を出て、二・五キロの山間の道をバス停まで歩くのですが、恐ろしい事件が続いていただけに心配

で心配で、どうにかならないものかと毎日のように家族で話していました。まだ幼い子供のいる近所の若いお母さん達も「今から心配しているんですよ。」と不安顔でした。これとある事に実情を訴え続け、実を結ぶ事が出来ま

「行って来ます。」と熊よけの鈴を鳴らし、元気よく駆け出していく三年生と一年生の孫達、時計を見ると七時二十五分。朝の一時間の違いの中には皆の喜びと安心が詰まっています。

あとがき

議会も選挙後2年が過ぎ、各委員会は委員の入れ替えを行いました。議会と町長（執行部）との関係は、二元代表制であり、常に対立なり、チェック、アンド、バランスの関係にあるので機関対立型といわれています。

チェックとは、条例に基づいていい仕事をしているか、無駄や不正はないか、透明度などの監視等を行うことです。

さて、予定より遅れた議会放映は、九月定例会から始まり、茶の間で町民の厳しいチェックが行われることでしょう。

広報に対しても様々なご意見をお寄せください。

(西)

《広報委員会》

委員長	西尾 寿博
副委員長	遠藤 幸子
委員	岡田 聡
委員	諸遊 肇司
委員	吉原美智恵
委員	近藤 大介